

大型(21t)火薬庫建設・騒音問題で防衛省と交渉

習志野基地には、アメリカ軍と一体の海外派兵を任務とする中央即応集団の部隊（第一空挺団・特殊作戦群）がおかれています。

この部隊の即応性のために必要と、今までの21倍もの大型火薬庫の建設が進められ、訓練の騒音も激しくなっています。

4月23日、日本共産党のさいとう和子党県青年学生部長、丸山慎一県議、船橋・習志野・八千代の各市議団は、自衛隊習志野基地の大型火薬庫建設と騒音問題で、北沢俊美防衛大臣宛に、火薬庫建設住民説明会の開催や情報公開、騒音被害の軽減などを求める要望書を提出し、回答を求めました。



住民説明会も開かず、火薬庫の建設を着工

4月15日、火薬庫の建設が着工されました。

防衛省は、「自治体に対して安全性についての説明を行い、周辺自治体にリーフレットの配布・回覧をお願いした。ホームページでもお知らせしており、電話での問い合わせにも個々に対応している。十分周知を図っているのだから、住民説明会開催は考えていない。」と説明会開催の姿勢を全くみせませんでした。「自治体が説明会を行えば参加を検討するか」と質し、検討することを約束させました。

基地周辺の住民からは、「初め2棟建の計画がなぜ3棟になったのか?」「21tとはどういう規模なのか?」「爆発したら?」等々の不安の声があがっています。住民を危険にまきこむ大型火薬庫の建設は許されません。

部隊の即応性のための建て替え

防衛能力類推される、公表できない

火薬庫設置の理由や規模の根拠、火薬類の輸送ルートなどを情報公開することについては、「部隊の即応性に欠けることからの建て替え。保管量は、教育、訓練、任務遂行に必要な量を勘案して決めた。中身は答えられない。公共の安全と秩序に影響を及ぼすことであり、防衛能力が類推されるので、公表できない」などと答えました。

訓練の騒音／早朝・夜間の訓練はやめよ

早朝・夜間（8時以前、17時以降）の訓練を中止、昼休み（12時～13時）の訓練は避けることについての要望には、「できるだけ控える。可能な限り低減するよう努力している。今後も皆さんの意見を拝聴し、可能な限り低減していくのでご理解をいただきたい。」と回答しました。しかし、「木更津からの飛来は、8時前は昨年は1件だけだった。」と、私たちの認識とはかけ離れた回答もあり、騒音への監視が必要です。

洗濯物に粉塵がつく被害も

ヘリコプターのホバーリングによる粉塵などが飛散し、洗濯物につくなどの被害が出ています。これに関して、「地元出先機関に問い合わせたが、粉塵などの苦情はきていない」と実態を全く把握していませんでした。周辺住民への聞き取り調査を行い、対策を講じるよう求めました。。

他に降下訓練の場外降着や落下物などの事故が起きないように厳重な手立てをとること、防衛省として騒音の実態調査を行うことなどについて要望しました。

日本共産党は、

- ※ 引き続き火薬庫建設の住民説明会開催を防衛省や各自治体に求めていきます。
- ※ 早朝・夜間、昼休みの訓練中止を実現させていきます。

みなさんの声をぜひお寄せください。

- ※ 騒音の苦情は下記に連絡しましょう。

	担当課	電話	
船橋市	環境保全課	436-2452	直通
習志野市	総務課	451-1151	市役所代表
八千代市	環境保全課	483-1151	市役所代表

火薬庫／訓練騒音 防衛省との交渉報告集会

- ◎ 5月12日(水)
午後6:30より
- ◎ 船橋市薬円台公民館 音楽室
(新京成線薬園台駅下車徒歩3分)

日本共産党千葉県西部地区委員会基地対策委員会

船橋市二和6-41-20/TEL047-440-5240・FAX047-449-7004